

令和 8 年 1 月 27 日

大学院学生各位

To All Graduate Students

2025 年度

基盤医学特論 開講通知

Information on Special Lecture Tokuron 2024.4-2025.3

題目:複製ストレス応答における DNA 修復因子 SLX4 の局在制御機構

Title: Dual pathways regulating recruitment of the DNA repair scaffold SLX4 during replication stress

講師 : 勝木 陽子 先生

九州大学大学院 薬学研究院 医薬細胞生化学教室 助教

Teaching Staff: Yoko Katsuki, Ph.D.

Department of Cellular Biochemistry, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyushu University, Assistant Professor

日時 : 令和 8 年 2 月 27 日 (金) 16:00-17:30

Time and Date: Feb 27 (Fri) 2026, 16:00-17:30

場所:環境医学研究所 北館セミナー室(東山キャンパス)

Room: N-201 (Seminar Room), North Building, Research Institute of Environmental Medicine (Higashiyama)

言語: 日本語 Language: Japanese

特論の概要:

DNA 複製の障害は、ゲノム不安定性や発がん、さらには遺伝性疾患の発症に深く関与しており、生物はこれを回避するための分子機構を進化の過程で獲得してきた。DNA 修復因子の足場分子として知られる SLX4 は、高い発がんリスクを特徴とするファンコニ貧血の原因遺伝子の一つである。SLX4 は複数の異なるコンテキストにおける複製ストレスに応答して機能するが、その過程では複製停止部位への適切な局在が重要である。本特論では、近年明らかにありつつあるユビキチン化および SUMO 化経路を介した SLX4 の局在制御の分子メカニズムについて紹介し、討論したい。

関係講座の連絡担当者:環境医学研究所ゲノム動態制御分野(分子機能薬学)金尾梨絵 内線 3871(鶴舞・大幸地区からは、85-3871)(事前の申込みは不要です。)

Contact: Rie Kanao, Dept. of Genome Dynamics, Research Institute of Environmental Medicine. Phone: ext. 3871 (or 85-3871 from Tsurumai & Daiko campuses) (No Registration Required.)